

平成30年度 補助金評価シート

補助金 名称	隅田川花火大会実行委員会						主管課・係（担当）	
根拠法令	単年度決裁						文化芸術振興課	
事業概要	伝統の両国川開き花火大会を継承する行事として、広く庶民に親しまれている花火大会を開催し、都区民に潤いと憩いの場を提供しようとするものである。						文化行事担当	
							事業の終期	
平成37年								
必要性・ 妥当性	区民のニーズ							
	昭和53年に隅田川花火大会として復活した伝統の花火大会は、日本有数の花火大会として成長し、都区民をはじめとする多くの方々から愛される事業として定着している。また、例年90万人を超える観覧客があることから、地域経済活性化の役目も十分に果たしていることから、区民のニーズはある。							
	代替可能性の状況（区が実施する必要性等）							
	当日の観客の安全確保に向けた警備及び安全施設の設置等を都・五区の各自治体がそれぞれ担う必要があるため、今後も区が実施していく必要がある。							
有効性・ 適格性	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	年 1 回 の 開 催				単 位	回 数
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		1	H37	目 標	1	1	1	1
				実 績	1	1		
			H32	H33	H34	H35	H36	H37
		目 標	1	1	1	1	1	1
		実 績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	伝統の両国川開き花火大会を継承する行事として、広く庶民に親しまれている花火大会を毎年継続して開催することが必要であるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	来 場 者 数				単 位	人
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		950,000	H37	目 標	950,000	950,000	950,000	950,000
				実 績	957,000	748,000		
			H32	H33	H34	H35	H36	H37
		目 標	950,000	950,000	950,000	950,000	950,000	950,000
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
伝統ある花火大会であり、東京の夏の風物詩として都内はもとより全国的に有名な大会として、今後も大勢の観客の来場が、地域経済活性化及び当区のシティプロモーションの指標となるためこの指標とした。								
財 政 面 〔決算額〕 (単位：千円)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	29,007	30,070						
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕				
					平成29年の40周年記念事業に対する増額分を減とし、従来の補助金額に戻す。			
施策への 関 連 性	伝統ある花火大会であり、東京の夏の風物詩として都内はもとより全国的に有名な大会として、今後も大勢の観客の来場が、地域経済活性化及び当区のシティプロモーションの指標となるため。							

1 必要性・妥当性			5	
区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合しているか	している	
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与するか	している	
区民ニーズに即しており、公益上必要と認められるか	認められる	個人利益に対する利益に留まらず適切な対象範囲に波及するか	する	
区の施策目標の実現に寄与しているか	している			
判断理由				
伝統の両国川開き花火大会を継承する行事として、広く庶民に親しまれており、事業に対する区民ニーズは高い。当日の観客の安全確保に向けた警備及び安全施設の設置等は、都・五区の各自治体がそれぞれ担う必要があるため、今後も区が実施していく必要がある。				
2 有効性・適格性			5	
経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっている	交付機会の公平性や負担の公平性が確保されているか	されている	
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致しているか	合致している	
任意団体に対する補助の場合、自立化を促進するものであるか	ある	補助目的及び金額に見合う実績等の効果があるか	ある	
補助目的が既に達成されていないか	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か	明確	
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲が明確となっているか	なっている	効果測定の具体的な目標・指標が明確か	明確	
判断理由				
必要経費に対して都・五区で負担を分担して補助を行っている。東京の夏の風物詩として都内はもとより全国的に有名な大会として、地域経済活性化及び当区のシティプロモーションの拡大に寄与している。				
3 効率性・経済性			5	
類似する補助事業がないか	ない	地域社会や区民等へ波及効果があるか	ある	
手続が過度に煩雑でないか	煩雑ではない	個人の経済的負担軽減の場合、実質的公平性を考慮しているか	している	
目的に対する区の負担割合が適切か	適切である			
判断理由				
テレビ東京による当日の中継のほか、大会前には多くの情報誌に区内の産業・観光資源の紹介がされており、地域経済活性化に寄与している。				
【評価結果】				
現状維持・拡充				
中間・最終年度の講評	企業協賛金等の見直しによる収入の減少や、年々困難さが増している警備・交通整理対策等の大きな課題もあるが、今後も観客の安全確保に向けた取組みの強化を図りながら事業を継続して実施する。			
今後の方向性	伝統ある行事を今後も継続して開催していくために、新たな収入源が確保できるよう計画的に新規協賛企業の開拓を進めながら、観客の安全確保を第一にした運営を行っていく。			